

ココチいい視点で開高再発見

悠悠々通信



2023.11 vol.17
開高健関西悠悠々会
mail:kansaikaiko@gmail.com
fax:06-6605-2088
〒558-8585
大阪市住吉区杉本3-3-138
大阪公立大学 有恒会内

2023年悠悠々忌、総会・講演会等開催ご案内

■総会・講演会・懇親会(抽選会)開催
12月2日(土)午後、関西悠悠々会総会、講演会・懇親会を開催します。総会では事業報告、次年度事業計画発表、会計報告を行い、講演会では悠悠々高山恵太郎副会長の講演を予定。(サントリーで開高健と親交があり様々なエピソードが期待されます)そのあとの懇親会(関係協力先提供の田辺大根等個人的景品が当たる恒例の抽選会も)では参加の皆様方と存分にお楽しみください。
※総会・講演会・懇親会への参加申込みは11月18日(土)着でお願いします。

■開高さんに水仙を手向け偲ぶ悠悠々忌
例年通り開高さんの命日の12月9日(土)10時より、近鉄南大阪線北田辺駅の開高健文学碑前にて悠悠々忌を開催します。参加者は開高

名言が書かれた短冊を自ら選び読上げ、開高さんを偲び水仙を献花します。
尚、本年も針中野の書店「本のお店スタント」で「開高健展」(オーパがらみの展示)が12/1(金)～12/10(日)開催されます。
(場所:近鉄針中野、駅前通り商店街路地北へすぐ。TEL:06-6694-5268)



▲開高健文学碑(解説板開高肖像写真/パネル新装)

event information

総会・講演会・懇親会

2023年12月2日(土) / 午後1時開始

会場:【梅田】大阪駅前第2ビル 6階
大阪公立大学文化交流センターホール
講演会:講師/高山恵太郎悠悠々会副会長
資料代:会員 1,500円 一般 2,000円

■上記行事へ参加ご希望の方は同封のご案内をご覧いただきお申込みください。
※参加申込み締切り:11月18日(土)

悠悠々忌

2023年12月9日(土) / 午前10時開始

会場:近鉄南大阪線・北田辺駅 開高健文学碑前
■参加申込み不要

2022年～2023年活動報告まとめ

■悠悠々忌

2022年12月9日(金)10時～開催

東住吉区役所・図書館や大阪公立大学、サントリーの代表者、地域の皆様等合計34名が参加。開高名言記載短冊を各々読上げ、水仙を献花、開高さんを偲んだ。



■悠悠々会総会・講演会・懇親会開催

2022年12月17日(土)13時～開催

大阪公立大学文化交流センターホールで総会(活動報告、次年度活動計画、収支報告等)開催後、講演会実施(講師は開高と旧制中学同級生の作花済夫悠悠々会会長で演題は「耳に残

る開高語録」。開高さんとの知られざるエピソードが多数披露された)その後恒例の懇親会・抽選会で大いに盛り上がった。出席は公立大学理事等代表者や市大卒業生中心に会員・開高ファン含め合計35名。



■「開高健がいた東住吉」展開催

悠悠々忌に合わせ針中野の「本のお店スタント」で2022年11月23日(水)～12月11日(日)開催。「破れた繭」で描かれた情景、同級生への手紙等開高の青春時代資料展示。



■文学碑右側「解説板」等の整備

開高健肖像写真パネル新装や文学碑周辺への白砂利敷きを悠悠々会々員狩野常雄氏・吉村直樹氏のご厚意で本年1月、実施いただいた。

■模擬原爆追悼式に合わせ開高作品展示
開高健の旧宅・北田辺地区に終戦直前、米軍の模擬原爆が投下された。開高健作品(「煉瓦色のモザイク」「名の無い街」)に模擬原爆の被害の様子が描かれていることを悠悠々会読書会メンバーが発見。模擬原爆の追悼式に合わせて7/18～31、東住吉区民ホールで該当部分やその解説等が展示された。



開高健読書会だより

【第67回読書会】2021年9月26日(日) 11名参加(含紙上参加)

テーマは「来たれり、去れり」(初出1967/1「文藝」開高36歳、収録「開高健全集第8巻」等)内容は主人公宅に代議士秘書青年と付添の中年男性が訪れ、有力代議士の秘密重要書類を奪われた青年秘書が責任を問われ狙撃等に遭い、生命の危険を感じ逃走等その間の出来事詳細をシリアスに話す。その後二人から音沙汰がなく、件の話は「真っ赤な嘘」との「落ち」がつく短編。最終部、「いいのが来た」の意味に議論沸騰。

【第68回読書会】2021年10月31日(日) 12名参加(含紙上参加)

テーマは「決闘」(初出、1968/8「文藝」開高37歳、収録「開高健全集第8巻」等)内容は沖縄の珊瑚礁のほとりで得体のしれない男性二人(年上の男と年下の男)は年上の男の妻がそれぞれ用に作った万葉ことばの歌が入った重箱のノリ巻きを食べた後、沖縄名物のハブとマンガースの決闘を見に行く。一瞬でマンガースの勝ちとなるがその状況とその後の二人の男の様子を描いた不思議な短編。自然描写・決闘描写に高評価。最終部、二人の男のやり取り、表現に議論盛上る。(開高記念会坪松理事も出席)

【第69回読書会】2021年11月28日(日) 12名参加(含紙上参加)

テーマは「暗い場所、高い声」(初出1972/3「週刊小説」実業之日本社開高41歳、収録「開高健全集第8巻」等)内容は暗闇で彼女が来るのを待つ彼の心情が描かれ、彼女が現れると戸外でのセックスとなる擬人化された猫の物語と判る。この最後の落ちについてメンバーの評価が大きく分かれた。随所に開高らしい巧みな表現が見え、伏線を張りながら最後にどんでん返し。開高の遊び心・サービス精神が溢れた短編。

【第70回読書会】2021年12月18日(土) 12名参加(総会后実施)

テーマは「やってみなはれ、みとくんははれ」(初出1969/6サントリー社史掲載 開高38歳、収録新潮文庫) サントリー(株)の創立70周年記念社史「やってみなはれ サントリーの70年1」として同社宣伝部員であった芥川賞開高健と直木賞山口瞳が執筆した小説風の個性的な社史作品で、この内開高作品を対象。極めて個人的な初代社長鳥井信治郎中心に戦後サントリーウィスキーの独走に至る社内一丸の取組みと、次男で二代目社長佐治敬三がビール御三家に挑戦、個性的ビール開発販売に向け取組むさまを描いた内容。開高健作品の更なるPR・拡大を目指し、一般の開高ファンも参加する「公開読書会」の形式にて実施。

【第71回読書会】2022年1月23日(日) 11名参加(含紙上参加)

テーマは「或る声」(初出1955/10「近代文学」開高24歳、収録「開高健全集第1巻」等)内容は終戦直後大阪郊外「我孫子町駅」付近の百姓家の土蔵住む二流新聞社勤務の「ぼく」と階下の若い女性「階下の女」(米兵「ヘンリー」のオンリーで許嫁者)との短編。「ぼく」は朝鮮戦争に赴いた彼の戦死を女に知らせず、女は街娼となるが「ヘンリー」を深く愛していることが判る。女に魅入られて行った「ぼく」は「I want you!」と叫びながら女の部屋に駆出す。いつもの素晴らしい情景描写表現に高評価。

【第72回読書会】2022年2月27日(日) 12名参加(含紙上参加)

テーマは「円の破れ目」(初出1956/2「近代文学」開高25歳、収録「開高健全集第1巻」等)内容は怪しい日常生活(円)から脱却したいとの思いで、主人公は戦時中動員され火薬庫を作っていた山奥にやって来たが町も谷も山も変貌何も発見できず帰る。途中、駅前で米兵のオートバイ暴走曲芸を止めさせようとする娼婦の必死の叫びに出くわす。円を破るには生死にかかわる位のエネルギーが必要と悟る短編。評価は分かれ「物足りない」「以降作品の基礎文体の完成」等活発な論議あり。

【第73回読書会】2022年3月21日(月) 13名参加(含紙上参加)

テーマは「二重壁」(初出1958/2「別冊文藝春秋」開高27歳、収録「開高健全集第2巻」等)主人公古田は几帳面で潔癖な性格の造船関連社員、妻と二人港町に居住。彼は戦中中国戦地に赴き慰安婦との衝撃体験がトラウマとなり、子供は作らなかった。得意先の男と「二重壁」の間の「鏡」の裏側から若い男の情事を覗くことを体験。戦地での衝撃体験が蘇り、妻の寝室に忍び込むという内容の短編。前半の港町情景描写は極めて素晴らしいと高評価、後半は意味不明、理解不能との低評価が続く。

【第74回読書会】2022年4月30日(土) 11名参加(含紙上参加)

テーマは「フンコロガシ」(初出1958/5「新潮」開高27歳、収録「開高健全集第4巻」等)戦時下造船工場で勤労動員の旧制中学生達の物語。筋肉隆々の「操」(劣等生)は、脆弱な身体で運動神経は皆無の「雄吉」(読書家)を投げ技・寝技等で暴力的支配を行う。「ぼく」は従順に受入れる「雄吉」を静観している。突然の艦載機の襲来で「ぼく」は先に逃げようと「雄吉」に襲いかかった途端「雄吉」は変貌・反撃。「ぼく」は腹部、腕を負傷。開高は三人の行動を何に喩え言いたかったのか議論は白熱。

【第75回読書会】2022年5月22日(日) 14名参加(含紙上参加)

テーマは「渚にて」(初出1973/1「新潮」開高43歳、収録「開高健全集第9巻」等)内容は個性豊かで変人に属する釣り仲間達との交流を描いた短編。釧路湿原に釣りに出かけ出会った二人、画家と「変わった人物」(定職にはつかず町外れの海岸に流木等で家を建て家族と居住)との交わり中心にその「変人」が愛息を亡くしてしまった変貌と北海道の流水・嵐の凄絶な姿を巧みに表現。ただ作品の焦点が不明との意見多数。

(文責 植田浩吉)

〈開高健作品読書会へのお誘い〉

日時/月1回程度(オンライン中心に開催、東京・神奈川・ニューヨークからも参加されておられます)

時間/2時間30分程度(開催日、時刻、テーマ作品は毎回決定)

※読後感想をざっくばらんに楽しく話合います。ご自由にご参加ください。

ご参加申込みは担当・吉村(メール: naokiy@m3.kcn.ne.jp)まで

茅ヶ崎市開高健記念館(神奈川県) イベント情報

作家開高健の業績や人となりについていただくことを目的に邸宅を茅ヶ崎市開高健記念館として開設。書斎は往時のままに、展示コーナーでは、期間を定めてテーマを設定し、原稿や愛用の品々を展示しています。令和5年10/28(土)から令和6年3/31(日)まで展示テーマ「開館20周年記念企画」*ベストコレクション 開高健、を開催します。詳細は、開高健記念会サイト(<https://www.kaiko.jp>)をご覧ください。



出所:開高健記念会HP

●茅ヶ崎市開高健記念館

〒253-0054 神奈川県茅ヶ崎市東海岸南6-6-64

Tel&Fax / 0467-87-0567

開館日/毎週金・土・日曜日、祝祭日 閉館日/年末年始

開館時間/午前10時~午後4時30分(入館は閉館の30分前まで)

入館料/200円(開高記念館と茅ヶ崎ゆかりの人物館共通券は300円)

□設立呼びかけ人

難波利三、唐村卓、玉岡かおる(以上作家)、藤本統紀子(シャンソン歌手、エッセイスト)、コシノヒロコ(ファッションデザイナー)、小林哲也(近畿日本鉄道取締役)、山中稔(南海電気鉄道特別顧問)、鳥井信吾(サントリーホールディングス代表取締役副会長)、寺田千代乃(アートコーポレーション社長)、山本社太(古典の日推進委員会ゼネラルマネージャー)、西澤良記(公立大学法人大阪理事)、作花清夫(京都大学名誉教授・天中五十期会会長)

(敬称略・順不同)

□お申込み・お問合せ

開高健関西西悠々会 事務局

mail:kansaikaiko@gmail.com

fax:06-6605-2088

〒558-8585

大阪市住吉区杉本3-3-138

大阪公立大学 有恒会内



Ken Kaiko

開高健関西西悠々会